

子供が幸せ 楽しい授業

フェアリータイムズ 芳川小 学校だより

フェアリーは芳川小のマスコット



R7.1.24
第 30 号



自分らしさが輝く楽しい芳川小

元気な挨拶ニコニコスマイル芳川小

夢を高く掲げる芳川小



ブログ 授業日 毎日更新 <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/hogawa-e/>

昨年11月に学校に対するアンケートを取らせていただきました。保護者の皆様から頂いた御意見を、来年度教育活動にも反映させていきたいと考えております。御意見を頂いたものをカテゴリー別に分け、学校としての意見をお伝えしていきたいと思っております。たくさんの御意見ありがとうございました。

※自由記述内容一覧 保護者の方の御意見を原文のまま載せています。個人が特定されるおそれがある場合のみ変更させていただきました。

【教師に対して】

○相手に伝える言葉の重要性と責任。発言したら戻れない。大切だからこそ気にしてほしいです。発言者（言った側）には、大した意味も、深い考えがなくても、受け取る側の受け取り方によって変わってしまう怖さがあります。相手を思いやることの大切さ。子どもたちがあたたかな心を育み、他者の気持ちを理解できるようになればいいなと感じています。ご指導のほど、今後とも、よろしくお願いいたします。

○無責任な教師がいる校長も含め

○読書週間や生活リズム週間など、親のコメントが必要なのが多かったように思う。また親子でトークもわざわざ学習カードに記載しなくてはならないか？

○親子トークの担任の先生のコメント。あれは子どもに対してですか？それとも親ですか？親子トークを書いているのは親ですが、いつも「すごい」の一言だけ。忙しいのはわかりますが、もう少し丁寧コメントを書いてほしいです。他の方はどうかわかりませんが、少なくともうちは、毎回そうです。1学期からです。正直失礼に感じます。

「無責任な教師がいる校長も含め」と書いた方の思いを察し、大変な御迷惑、御心配をおかけいたしましたことをまずはお詫び申し上げます。相手に伝える時には聞き手の立場に立つことがやはり大切です。子供たちは大人のそういった

姿を見えています。「〇〇しなさい」と言うのに大人はしていない……。とならないようにすることが大切です。普段何気なく使っている言葉も子供たちはよく聞いています。言葉遣いは相手に対する気遣いでもあります。学校や家庭でも言葉遣いを大切にしたいです。私達は子供たちの手本でありたいと思います。

親子でトークの記述に関して不快な思いをさせてしまって申し訳ありませんでした。学年が進むにつれ、子供向けに直接コメントを伝えて関係を作っていくことが多くあります。だからこそ、対象者が分かるよう伝えるのも大切です。また同じコメントが続くことは、とても子供を大切にしているとは言えません。子供や保護者と良い関係を築くためにも手を抜いてはいけないうちとして職員にも伝えていきます。

【いじめについて】

〇いじめに関してどこまでが許されてどこまでがダメなのかを子供達や保護者に伝えた方がいいと思いました。先生の指導でしかる時の言葉遣いも場合には気をつけた方がいいかなと思いました。

〇イジメがどこまでのものかを子供達や保護者の方々にちゃんと伝えてもらえたいと思いました。子供が困っていて先生に相談しても、あまり相手にされなかったりとか重大な事では無いと判断されたりとかで後々大きな問題になってしまうケースもあったりするのでできればもう少し子供がどこまで実際に困っていることに耳を傾けて頂けると良いかなと思いました。

もちろん先生方も大勢の子供達の面倒を見て下さっていて、その大変さもある中でありがたさもありつつの気づいた点です。

〇クラスの女の子のお友達が別の女の子(2人)に陰口を言われたり、嫌がらせを受けていたりする事を我が子が涙ながらに相談を受け、毎日帰宅するとすぐにその話が始まります。自分の事のように心が痛く悲しみと怒りで辛そうな時がありました。

高学年になると陰険だなと…早く解決して欲しいものです。

〇いじめや不登校適切に対応してるかどうか2択だけど適切に対応しているかどうかは全くわからない。

いじめについての意識がかなり高まってきている表われに感謝いたします。いじめとは「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」です。多くの方がイメージする

「弱いものに対して」「一方的」「肉体的・心理的な攻撃」「相手が深刻な苦痛を感じているもの」というような、社会通念上のいじめとはギャップがあります。深刻ないじめは、早急に対応しなくてはなりません。一方でいじめの定義に沿えば、どの子供であっても、加害者にも被害者にもなりえます。どこでも起こるものだからこそ、いじめは許されないものとして定期的にアンケートを実施しました。定期的な聞き取り以外でも苦痛を感じていることを少しでも打ち明けられるよう対応してきましたが、まだまだできていないところも多くあります。相談にしっかり耳を傾けることを再度職員全体で共有したいと思います。また、御家庭の協力が必要不可欠です。一緒に子供が安心して過ごせるよう御協力お願いします。いじめに対しての取り組みが保護者の皆様にも伝わるように学校や担任からも発信していきたいと思います。

【荷物について】

○このアンケートとは関係ないかもしれませんが、登下校時の子どもの荷物が成長期の骨や筋力に影響がないか心配になるほど重いです。朝からこんな重いものを背負わないといけない子どもたちにとって通学が負担になるのも仕方ない気がします。タブレットを学校に置いておく、置き勉の強化等少しでも軽くできればと思います。

○算数セットも少しの期間しか使わないので全員強制購入ではなく学校の備品として置いてほしいと思っています。もし算数セットの寄付を募るようでしたら喜んで協力します！

荷物について置き勉についてはほとんどの教科書を学校に置いておくようになりました。再度確認をして登校時の負担が少しでも減るようにしていきたいと思います。タブレットに関してはノートのように使用頻度が高まっていますので上手な運搬について考えていきたいと思います。

算数セットについては個人で使うものだけに絞っています。低学年時には必ず使用をするもので、個人で購入されるより入学時に一括で同じものを購入した方が使用も指導も良いと考えています。

【家庭学習について】

○宿題については、厳しすぎると思いました。自主勉強なのに、きちんとやらないと思われたり、1ページだったのが2ページになったり、不思議です。自分が好きなことを調べて書いても、先生から文句が出るなら、子供のやりたいことを壊してると、思います。

家庭学習については各担任で採点に幅があるかもしれません。自主学習だから好きなことだけやっているのではなく、学習対象を広げることも大切と考えていると思いますが、言葉掛けに配慮が足りていませんでした。やる気が出るよう指導することも教員の技量でもあるので、子供の頑張りを認めることを大切にしたい言葉掛けができるようにしていきたいと思います。

【連絡について】

〇気になることがあった際、早めに、こまめに、連絡を入れていただけると助かります。(電話、連絡帳、学習カード等で)

〇おんぶに抱っこ、やってもらって当たり前な考えの子が多い気がします。社会に出たときその考え方で困るのは自分自身になることをもっと指導教育してほしいです。

御家庭との協力によって学校の教育活動は進んでいきます。普段から連絡を取り合い、良いことも悪いことも含め子供にとって最良の道を一緒に作っていきえるよう努めていきたいと思います。学校でも家庭でも自分のことは自分で行う、助けてもらったら感謝するなどその場で指導できることを時を逃さず取り組んでいきましょう。

【給食について】

〇小麦と牛乳が日本人の体においてとても有害であることを学校の先生達はお気づきでしょうか。現代の子供たちにアトピーやアレルギーが増えているのも、心の病気になる子が増えているのも、食生活が大きく関わっています。学校の給食からパンと牛乳をなくすなんて大変なことだとは承知してますが、子供たちの心と体の健康を守るためには必要な事だと思います。

小麦や牛乳等の有害性は盛んに言われるようになりました。給食として子供たちに何を提供するかという問題は、子供の健康に大きく影響する問題だと思います。給食の目標は7つあります。①健康の保持増進②健全な食生活・食習慣を養う③学校生活を豊かにし社交性及び協同の精神を養う④生命尊重・環境保全の態度を養う⑤勤労を重んずる⑥伝統的な食文化の理解⑦食料の生産、流通及び消費に対する理解です。これら7つの目標達成に向かい給食を実施しています。そして、学校給食法や学校給食実施基準等に基づいて、学年に応じてどんな栄養をどれだけ摂取すればよいかが定まっています。それを受けたメニューになっていますので、パンと牛乳を直ちになくすことはできませんが、子供たちの

健康のため、食育の指導として考えていくことは大切です。貴重な御意見をありがとうございます。

【通学班について】

○通学班での登校に賛否があるように思います。とてもいい面もあります。ただ地区役さんが大変そうに感じたので配慮してもらえたらと思いました。

通学班については地域でも話題にあがっているようです。PTAの御協力により、朝は通学班での徒歩での登校を行っています。車による送迎に関しては学校運営協議会からのアンケート以後、かなり減っています。引き続き御協力をお願いします。

来年度も7:35～8:05の間に登校することになります。早すぎる登校も減ってきました。安全管理上、登校時刻に合わせた集合、通学ができるよう各地区でも再度確認をお願いします。